

江東区一般廃棄物処理基本計画の進捗状況について

1. 計画における各指標の推移

(1) 基本指標

項目	令和5年度	令和6年度	前年度比	目標値 令和13年度
区民1人当たり1日の資源・ごみの発生量 (g/人日)	595	581	△ 14	561
区民1人当たり1日の区収集ごみ量 (g/人日)	438	429	△ 9	391
資源化率 (%)	26.9	26.7	△ 0.2	30.7
大規模建築物事業者の再利用率 (%)	72.52	73.32	0.8	74.7

(2) モニター指標

項目	令和5年度	令和6年度	前年度比
最終処分量 (t)	256,850	267,941	11,091
温室効果ガス削減効果 (t-CO ₂ /年)	25,205	26,112	907
プラスチック	5,121	6,081	960
発泡スチロール	1,448	1,429	△ 19
古紙	3,361	3,274	△ 87
びん	478	455	△ 23
アルミ	4,951	4,879	△ 72
スチール	507	485	△ 22
ペットボトル	8,527	8,736	209
古着	812	773	△ 39
区民1人当たりの費用 (円)	15,355	15,971	616
資源1t当たりの費用 (円)	70,422	86,237	15,815
集団回収	7,926	8,019	93
古紙	32,367	35,516	3,149
びん	47,360	79,561	32,201
缶	178,100	213,427	35,327
ペットボトル	189,623	229,103	39,480
プラスチック・発泡スチロール	208,738	221,247	12,509
その他	133,857	162,173	28,316
【参考】資源1t当たりの売却費 (円)	11,322	13,821	2,499
集団回収	0	0	0
古紙	5,197	5,157	△ 40
びん	72	79	7
缶	158,981	189,319	30,338
ペットボトル	62,529	76,302	13,773
プラスチック・発泡スチロール	0	0	0
その他	31	475	444
ごみ1t当たりの費用 (円)	63,035	67,164	4,129

※ それぞれの指標の算出方法等については、別紙を参照。

○モニター指標の増減理由

① 温室効果ガス削減効果

資源回収量は全体的に減少傾向であるが、プラスチックの回収量増に伴い温室効果ガス削減効果は増加した。

② 区民1人当たりの費用

清掃リサイクル事業関連経費決算額を江東区の人口（毎年1月1日現在）で除した経費である。清掃リサイクル事業関連経費のうち資源回収事業経費の増等により、区民1人当たりの費用は増加した。

③ 資源1t当たりの費用

収集運搬及び処理に係る経費を回収量で除した経費であり、回収量や経費の増減で変動する。資源回収量はごみ量とともに減少傾向にあるが、各資源品目の収集運搬及び処理に係る経費の増加により、資源1t当たりの全体の費用は増加した。

※「その他」に含まれる品目は、「電池類」「蛍光灯」「古着」「小型家電拠点回収」「粗大ごみからの小型家電分別回収」「小型家電の宅配回収」「自転車拠点回収」「不燃ごみ」を合わせた8品目である。「不燃ごみ」の資源化は回収量が多く経費もかかる。

④ 資源1t当たりの売却費

資源回収量や市況価格により変動する。ペットボトルやアルミの売却単価の増加に伴い、資源1t当たりの売却費は増加した。

⑤ ごみ1t当たりの費用

ごみの収集・運搬・処理・処分に要した経費（人件費・物件費、建物や工作物の減価償却費等）を決算額に基づいて算定し、これをごみ処理量で除した経費である。ごみの収集運搬及び処分に係る経費のうち、処分経費が増加したため、ごみ1t当たりの費用は増加した。

(3) 取組指標

項目	令和5年度	令和6年度	前年度比
集団回収団体（団体数）	723	726	3
リサイクル講座（参加者数）	27	59	32
出張勉強会（実施団体数）	10	2	△8
生ごみ減量推進事業（実施世帯数）	59	85	26

2. 令和7年度の主な取り組み

(1) ごみ分別検索サービス「江東ごみナビ」を導入

資源・ごみ分別の周知啓発を推進するため、令和8年1月からごみ分別検索サービス「江東ごみナビ」の運用を開始した。AIによる高度な品名マッチング、多言語対応、位置情報による資源回収拠点の検索など、応答機能を強化することで区民の利便性向上を図った。

(2) 発火性不燃ごみの排出方法周知を強化

リチウムイオン電池および電池内蔵小型家電の混入による清掃車両等の火災発生を防ぐため、発火性不燃ごみの排出方法周知を強化した。

(3) 燃料電池ごみ収集車を導入

都のZEVごみ収集車実装支援事業を活用し、水素燃料を用いた燃料電池ごみ収集車2台を導入した。今後、車両メーカーによる生産台数拡大後、計5台を導入予定である。

3. 今後の展開

(1) 江東区一般廃棄物処理基本計画の改定

令和8年度をもって策定から5年を経過することから、中間年度として、現行計画の改定を行う。

(2) 粗大ごみ処理手数料のキャッシュレス決済導入

令和9年4月の粗大ごみ処理手数料のキャッシュレス決済導入に向け、粗大ごみのオンライン申込と同時にワンストップで処理手数料の支払いができるよう、システム構築を実施する。

(3) (仮称) 清掃事務所作業センター等の整備

老朽化した清掃事務所敷地内施設について、災害に対する脆弱性や労務環境の改善を目的に建替え・集約する。令和8～9年度にかけて設計を行い、令和9年度より工事開始、令和11年度竣工の予定である。

(4) 区民・事業者の4R（リフューズ・リデュース・リユース・リペア）の一層の推進

ごみ減量で重要なことはごみを発生させないことであるため、リフューズ（断る）・リデュース（発生抑制）・リユース（再使用）・リペア（修理）を区民・事業者が積極的に取り組むよう情報発信を行う。

4. 令和8年度清掃リサイクル事業にかかる予算の概要

(単位：千円)

事業名	8年度	7年度	増減	方向性	事業概要
一般廃棄物処理基本計画推進管理事業	11,561	12,273	△712	レベルアップ	江東区一般廃棄物処理基本計画の進行管理に用いるごみ組成の分析・調査等。 8年度は、一般廃棄物を管理し、適正な処理を確保するため、江東区一般廃棄物処理基本計画を改定。
清掃事務所管理運営事業	86,462	76,787	9,675	維持	清掃事務所、環境学習情報館（えこっくる江東）の維持管理及び清掃事業の運営。
清掃一部事務組合分担金	3,003,222	2,763,230	239,992	維持	ごみの中間処理を行う東京二十三区清掃一部事務組合の分担金及び廃棄物運搬請負契約に関する事務、一般廃棄物処理業等許可事務を行う東京二十三区清掃協議会に対する負担金。
清掃事務	1,333	1,246	87	維持	清掃リサイクル課の管理事務。
ごみ減量推進事業	17,272	18,344	△1,072	レベルアップ	ごみ減量推進のため、環境フェア等への参加、ガイドブックの配布、AIごみ分別検索サービス（LINE）の提供、生ごみ減量に向けた堆肥化資器材等の貸与、区内事業者を対象とした「食べきり協力店登録事業」等により、清掃・リサイクル事業を普及、啓発。 家庭用電動式生ごみ処理機購入費助成件数：300件 8年度は、薬剤師会に対し、使用済み注射針の処理にかかる支援を拡充するほか、町会・自治会対象の清掃施設等見学会を廃止し、リサイクル講座に統合。
粗大ごみ再利用事業	92	88	4	維持	ごみ減量啓発のため、収集した粗大ごみを再生し、有償により提供。
ごみ収集運搬事業	2,335,821	2,036,737	299,084	レベルアップ	家庭、事業所から出るごみの収集運搬。 ごみ収集計画量：燃やすごみ8万7,024t、燃やさないごみ3,270t、粗大ごみ3,613t 8年度は、9年4月の粗大ごみ処理手数料のキャッシュレス決済導入に向け、粗大ごみのオンライン申込と同時にワンストップで処理手数料の支払いができるよう、システム構築を実施。

動物死体処理事業	18,300	16,544	1,756	維持	自己処理できないペット等動物死体の有料処理及び都道・区道上の動物死体処理。 処理件数：有料 323 件、都道 104 件、区道 356 件
有料ごみ処理券管理事業	39,867	35,966	3,901	維持	有料粗大ごみ処理券及び事業系ごみ処理券の印刷と交付。
ごみ出しサポート事業	10	10	0	維持	清掃職員が対象者宅の玄関先に出されたごみを戸別収集。 収集戸数：1,118 件
清掃車両管理事業	43,777	36,704	7,073	レベルアップ	清掃車両の維持及び運行。 内訳：小型プレス車 7 台、軽貨物車 7 台、連絡車 5 台、広報車 1 台、水素燃料電池ごみ収集車 2 台
一般廃棄物処理業者等指導事業	339	804	△465	維持	一般廃棄物処理業者等に対し、立入検査等を実施し、事業系一般廃棄物の適正処理を行うよう指導。
大規模事業用建築物排出指導事業	953	1,214	△261	維持	事業用途に供する床面積の合計が 3,000 m ² 以上の建築物の所有者等を対象とした各種届出、立入調査、指導、講習会を実施。
資源回収事業	2,577,149	2,495,740	81,409	維持	びん・缶・ペットボトル、古紙等の資源物の分別収集と再商品化。 回収量：古紙 5,515t、びん・缶・ペットボトル 7,369t、プラスチック 3,034t、発泡スチロール 220t、電池類 119t、蛍光管 27t、古着 92t、小型家電 5t、粗大ごみ回収家電 290t
集団回収団体支援事業	74,547	79,505	△4,958	維持	集団回収実施団体に対して、回収量に応じた報奨金を支給。 回収量：9,849t 実施団体数：714 団体（1 月～12 月の回収団体数）
集団回収システム維持事業	10,406	12,024	△1,618	維持	市況の変動で集団回収が影響を受けないよう調整するため、回収業者に雑誌回収量に応じた奨励金を支給。 雑誌回収量：2,586t
本庁舎外施設資源回収事業	20,825	21,236	△411	維持	区役所の本庁舎以外の施設から排出される古紙・びん・缶・ペットボトル・蛍光管・乾電池・プラスチックを回収。
不燃ごみ資源化事業	187,209	183,956	3,253	維持	ごみ減量及び埋立処分量の削減と資源化率向上のため、収集する不燃ごみ全量の資源化を実施。
エコ・リサイクル基金積立金	313,582	286,493	27,089	維持	古紙売払収入・分別回収資源売払収入を原資とし、循環型社会の推進及び都市生態系の保全に寄与する事業の財源とするための積立て。 8 年度充当事業 「不燃ごみ資源化事業」に 1 億 8,720 万 9,000 円
(仮称) 清掃事務所作業センター等整備事業	34,700	0	34,700	新規	老朽化した清掃事務所敷地内施設について、災害に対する脆弱性や労務環境の改善を目的に建替え・集約。 事業期間：8～9 年度 基本・実施設計 9～11 年度 工事 総事業費：11 億 9,406 万 9,000 円